

リハビリテーション科

カテゴリー：選択科目

一般目標：整形外科手術後（運動器リハビリテーション）、脳神経外科、神経内科における脳神経 血管障害後の機能回復訓練および廃用性機能障害を防止するため（脳血管疾患等リハビリテーション）、また、内科疾患、特に呼吸器リハビリテーション及び心大血管疾患 リハビリテーションを行います。さらに、急性期におけるリハビリテーションの内容（術後リハビリテーションも含む）と重要性および慢性期における社会復帰、日常生活への復帰について研修し、Quality of Life に対する理解を深める。

【個別目標】

- ・症例への適切なリハビリテーションプログラムを考える。
- ・リハビリテーションの適切なゴール設定を行う。
- ・適切な退院設定をおこなう。

【指導原則・方法】

- ・外来診療および院内回診において、患者の障害像（身体機能評価、精神機能評価、ADL 評価）のとらえ方、治療方針について、指導医のもとに研修を行う。
- ・リハビリ機能訓練（理学療法、作業療法、言語療法）の実際を見学し、指導を受ける。
- ・外来診療での評価結果につき、週に 1 回簡単な発表形式で報告し、指導を受ける。
- ・カンファレンスにおいて担当患者の詳細なプレゼンテーションを行う（月 1～2 回）。
- ・専門的なリハビリ医療については主に、見学での参加・見聞を行うことが可能。